



東北地方太平洋沖地震の被災地へ義援金 義援金 100 万を福岡県に寄託 麻生県知事 被災地支援に万全を期します！



義援金を麻生福岡県知事へ寄託する高島喜信労福協会長

福岡県労働者福祉協議会は、3月30日東北地方太平洋沖地震の被災地への義援金として100万円を福岡県へ寄託しました。

3月30日（水）16時より福岡県庁の知事応接室において寄託式が行われ、福岡県労働者福祉協議会から高島喜信会長、中村太良副会長、大原始事務局長の3名が出席しました。福岡県側は麻生渡県知事をはじめ関係者5名が対応されました。

寄託式では、高島喜信会長から「福岡県労福協の会員団体それぞれで支援活動を展開中ですが、福岡県労福協会員の総意で義

援金寄託を決定しました。被災地の一日も早い復興を祈念しています」と挨拶を行い、義援金100万円を麻生渡福岡県知事へ手渡しを行いました。麻生渡知事からは「福岡県労福協の皆様には、勤労者福祉の取組みをはじめ福祉活動で大変お世話になっています。この度はいち早く義援金の申し出を頂き、厚く御礼申し上げます。被災地の皆様への支援に県としても万全を期します」と御礼と決意の挨拶がありました。

その後の麻生渡福岡県知事との懇談では、福岡県の対応状況について報告がありました。福岡県は、3月12日に麻生渡県知事を本部長とする救援本部を設置し、被災地域への救援対策を協議。「県営住宅の提供」「救援物資の輸送」「保健師等の派遣」「緊急消防援助隊の派遣」「ドクターヘリの派遣」「災害派遣医療チームの派遣」等を確認し、具体的に行動を展開中とのことでした。

今回の大震災は、「地震」「津波」そして「原発」と三重の災害が被災地を厳しい状況に追い込んでいます。しかし、国内はもとより全世界から支援の輪が広がっていますし、政府は当然であります。被災地では多くの関係者が不眠不休で災害対策に当たっています。福岡も6年前に福岡西方沖地震を経験していますが、いま私たちがやるべきことは、マスコミ情報等に惑わされずに、正しい情報に基づき、過度の行動を慎み冷静に対応することをお願いする次第です。

ガンバシ東北！ ガンバシ東日本！ がんばれ日本！